



平成 20 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 大証金（大阪証券金融株式会社）
代 表 者 取 締 役 社 長：堀 田 隆 夫
（コード番号：8 5 1 2 東証一部・大証一部上場）
問 合 せ 先 取 締 役 企 画 総 務 部 長：西 山 剛
（TEL. 0 6 - 6 2 3 3 - 4 5 1 0 （代表））

平成 20～22 年度中期経営計画（単体）の策定について

本日開催の取締役会において、平成 20 年～22 年度における経営目標、数値目標等を盛り込んだ中期経営計画（単体）について決議いたしましたのでお知らせいたします。

- 平成 20～22 年度中期経営計画（単体）の概要…別紙

以 上

本資料には、当社の業績に関する将来の予想、見通し等の記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績の実現を保証するものではなく、不確実性やリスク要因が含まれているため、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

平成 20～22 年度中期経営計画（単体）の概要

～ 創立 60 周年に向けて、さらなる飛躍を目指し収益基盤を強化 ～

● 基本認識

使 命	「証券のための金融、証券による金融」を社会的使命として認識し、証券市場の発展に貢献する。
目 標	企業の持続的発展を通じ、関係者の期待に応える。 株 主：高い収益性の実現 お客様：ニーズへの対応、サービスの向上 従業員：「やる気」に応える職場の提供
行動憲章 行動指針	「企業行動憲章」を遵守し、「ゼロからのスタート」の精神で「ニーズ！スピード！チャレンジ！」を実践する。

● 経営目標

収益性	利益水準	ROE 5%の早期実現を目指し、収益力を強化する。
	配 当	年 6 円の安定配当を堅持する。好業績時（単体純利益で概ね 8 億円以上）には、配当性向 30%を基準に増配する。
健全性	自己資本比率	金商法基準、B I S 基準ともに高水準を維持する。
	格 付	格付け向上を目指す。

● 数値目標

（単位：億円）

	平成 19 年度（予）	平成 22 年度
経 常 利 益	8	1 8

（注 1）19 年度予想は 20 年 1 月 24 日公表値

（注 2）22 年度目標の主な前提値

19 年度予想と比べ、資金運用平均残高は 20%程度増加、短期金利は 0.50%程度上昇

● 平成 20 年度経営計画

○ 経営目標

1	お客さまニーズに応える商品性の改善に努め、サービスの向上を実現するとともに、新規提携先の獲得に注力して、収益基盤の強化を図る。
2	財務報告に係る内部統制システムの運用整備を通じて、より適正な企業運営体制の整備を推進する。
3	タイムリーディスクロージャーの推進、積極的な社会貢献活動を通じて、社会に開かれた企業を目指す。

○ 重点戦略および貸出目標

- (1) 東京支社の拡充強化
- (2) 主要金融機関等との提携戦略の推進
- (3) 新商品・新サービスの開発推進
- (4) 次期システムの開発推進
- (5) 重点商品の平成 21 年 3 月末貸出目標

①	ビジネスローン	3 0 0 億円
②	株券レポ	3, 4 0 0 億円
③	コムストックローン	1 5 0 億円
④	信用サポートローン	3 2 0 億円

本資料には、当社の業績に関する将来の予想、見通し等の記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績の実現を保証するものではなく、不確実性やリスク要因が含まれているため、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。